

## 「大東市企業紹介 人材インタビュー～青木常務取締役編～」

第11回は、「【金属のジムトレーナー®】株式会社熱研を支える」



【左:青木様 右:岡田社長】

大阪府大東市にある株式会社熱研: <https://www.e-nekken.co.jp/>

本記事では常務取締役の青木様にインタビューを実施し、これまでのキャリアや熱研の強み、これから取り組まれないこととお伺いいたしました！

### 青木様のこれまでのキャリア

前職から一般金属熱処理の高周波焼入れ部門でキャリアを積まれてこられた青木様。

先代社長に声をかけられ株式会社熱研へ入社されました。現代表の岡田社長とも前職からご縁がありました。

当時からマニュアル化や作業の標準化等、業務効率化に注力されました。

2000年に株式会社熱研へ入社され、現場の機械設置や様々な効率化の取り組みのため、

時にはお手製で器具を作成される等柔軟な発想で業務改善に従事されてこられました。

現場での生産、営業やお客様との折衝を経て、現在は常務取締役として品質管理に注力されております。



【青木様お手製の器具達。台車や扇風機台、時には工場内の配管までお手製】

## 特殊工程だからこそマニュアル化・言語化に注力

「マニュアル化や標準化は、焼入れのような特殊工程を生業にしている者としては必須です。」と青木様はおっしゃいます。焼入れした製品は実際に使ってみないとわからない特殊工程だからこそ、株式会社熱研では先代社長の時代、およそ 30 年前から品質のマニュアル化を推進し、その基盤をもとに 2009 年に ISO を取得され、マニュアル化や言語化により一層注力されてきました。不具合発生件数は、取り組みを始めた当初は月数件ありましたが、現在は年間 1、2 件と潰し込みに成功しています。



【取引先様からの認定賞状】

## 人命に関わる部品を扱うからこそ更に信頼を得られる

株式会社熱研は取引先様のクボタ様より「重要保安部品」という、命に関わる部品を扱う企業様として認定されている、

中小企業様の中でもかなり特異な企業様です。前述のマニュアル化・言語化の取り組み、現場でのマネジメントを評価されているとのこと。

「まだまだ現場の管理力に課題はありますが、取引先様から監査時に課題をもらい続けられるからこそ、今の実態をちゃんと認識できてもっと成長することができると考えてます。」と青木様はおっしゃいます。取引先様からの監査を通して、従業員の方々の自負や意識改革にもつながっており、どの部品がどの製品に使われているのかを理解しながら日々の業務に取り組んだり、現場からの改善提案の数も年々増加しており、スムーズ且つ低コストで人にも優しい環境を実現されています。



【改善提案の事例：梱包ラップの使用をやめビニールカバーで代用。一人年間 15 件改善提案を上げることを目標に取り組まれています。】

「技術者たる前に人間たれ」という株式会社熱研の社訓にもある通り、人としての信頼もさることながら、目の前の課題を愚直に解決し続けた結果が今の熱研に繋がっています。

## これからはプロの分身をつくる！

現場の製造と品質の管理に特化した中間管理職の育成に意気込んでおられる青木様。

これまでの青木様ご自身のご経験、特に品質管理や監査の経験を従業員の方々に還元していくことに注力されるそうです。

「技術者たる前に人間たれ」の精神を引き継ぐ、**技術力と人間力を兼ね備えた熱研人材**の輩出が楽しみです！